

沖縄で

人生を見つめなおす
ライフスタイルマガジン2015年
創刊

ひとやすみ

春・桜だより号

公益財団法人 沖縄県メモリアル整備協会
2015.2.1 発行くつろぎたいむインタビュー
高見知佳さん

ひとやすみのうちなーんちゅ体験ガイド

【那覇まちま〜い！】

おきなわで・ひとやすみのコト・モノ・バショ

【おきなわいちば／平和通り・希望ヶ丘公園】

Okinawa Life ending Stage syuukatu fan club

【遠藤さん・糸井さんご夫妻／Uさんご夫妻】

終活カウンセラーいちえの「よりよくいきる」

【小浜 一恵さん】

沖縄県メモリアル整備協会だより

【法要のご報告】



2015.1.26

本部・八重岳 さくら祭りにて撮影

ロハスエンディング

しま風



美しい自然に囲まれた沖縄での『永代供養』

全国一律料金お一人様総費用

93,200 円 (税込)

(納骨料、彫刻料、永代供養料、管理料、一年供養の間で安置供養料を含む)

※なお、永代供養料 50,000円は非課税となっています。

生前契約・ご納骨契約どちらでもご利用いただけ、
宗教、宗旨、宗派を問いません。

料金には下記のサービス内容が含まれます。

その他の費用は一切必要ありません。

プラン内容



一年供養の間で
安置供養



合祀永代供養



石碑彫刻



合同供養法要

オキナワンエンディング

美ら海



『海洋散骨』と『永代供養』のセットプラン

全国一律料金お一人様総費用

96,960 円 (税込)

(散骨費用、納骨料、彫刻料、永代供養料、管理料を含む)

※なお、永代供養料 30,000円は非課税となっています。

生前契約・ご納骨契約どちらでもご利用いただけ、
宗教、宗旨、宗派を問いません。

料金には下記のサービス内容が含まれます。

その他の費用は一切必要ありません。

プラン内容



海洋散骨



散骨証明書



合祀永代供養



石碑彫刻



合同供養法要

オキナワン・ライフエンディングステージ

沖縄で終活

第2回 沖縄終活体験ツアーご好評につき開催決定!

クルーズ船での海洋散骨の模擬体験や、人気霊園で永代供養施設見学が可能です!
皆さまには沖縄での終活事情を肌で感じながら、観光も兼ね備えた充実したプランで
ご案内させていただきます。

2015年
4月20日(月)≫4月22日(水)

羽田空港発

2泊3日
おひとりさま
(2名1室)

46,800 円!!



公益財団法人沖縄県メモリアル整備協会は、沖縄でのエンディングをご提案いたします。

お気軽にお問い合わせ下さい!

信頼を重ねて20年
20th
Since 1994

まずは資料請求を!

メモリアル終活支援センターにご相談ください。

受付時間
9:00~17:00
無料相談



0120-202-869

メモリアル終活支援センターは、専門のスタッフがお客様の立場でお役に立てよう誠心誠意お応えします。

公益財団法人 沖縄県メモリアル整備協会 / メモリアル終活支援センター

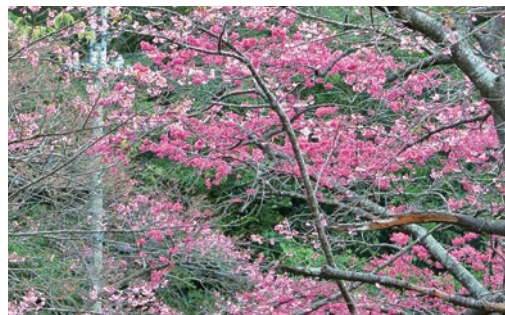
〒901-1111 沖縄県島尻郡南風原町字兼城123番地POPビル3F

沖 縄 で ひ と や す み

2015 年 春★桜だより号

2015/2/1 発刊 通巻 1 号

表 紙 本部・八重岳のさくら
八重岳では、日本全国で一番早いさくら祭りが開催される。桜の花が、山の頂上から次第にふもとに降りていくのに合わせて、沖縄本島全体が、桜のピンクに染まっていく。



特 集 くつろぎたいむインタビュー
歌手・タレント 高見 知佳さん

CONTENTS

- | | |
|-------|---|
| 4～6 | ・くつろぎたいむインタビュー
歌手・タレント 高見 知佳さん |
| 7 | ・おきなわで・ひとやすみのコト・モノ・バシヨ
おきなわいちば／平和通り裏の希望ヶ丘公園 |
| 8/9 | ・ひとやすみのうちなーんちゅ体験ガイド
那覇まちま～い！ |
| 10 | ・沖縄 いろとりどり
本部八重岳のさくら |
| 11/12 | ・Okinawa Life ending Stage syuukatu fan club (owner's voice)
遠藤さん・糸井さんご夫妻／Uさんご夫妻 |
| 13 | ・終活カウンセラーいちえの「よりよくいきる」
小浜 一恵さん |
| 14/15 | ・沖縄県メモリアル整備協会だより
法要のご報告 |

企画／発行：公益財団法人 沖縄県メモリアル整備協会

【メモリアル終活支援センター】

〒901-1111 沖縄県島尻郡南風原町字兼城 123 POP ビル 3 F

電話 098-996-1238 FAX 098-996-1239

制作／印刷：光文堂コミュニケーションズ株式会社

〒901-1111 沖縄県島尻郡南風原町兼城 577

電話 098-889-1131 FAX 098-835-6111



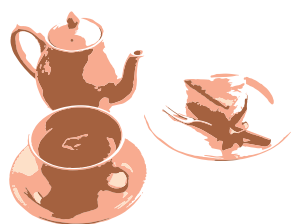
高見知佳さん
愛媛県新居浜市出身。1978年にアイドル歌手としてデビュー。
1984年発売の「くちびるヌード」がヒット。映画「蒲田行進曲」や日本テレビ系「追跡」に出演するなど、歌手、女優、司会者として活動後、2001年に結婚、2003年に沖縄移住。

「お母さん、海って夜も寝ないんだね」。子育ての忙しい毎日の中、ふと、息子の望垂（のあ）くんがもらした言葉が、今でも記憶に残っていると話すのは、沖縄在住一二年になるという高見知佳さん。

望垂くんがまだ二、三歳ぐらいの時、夜の「やんばる」家族ドライブで、急に「お母さん、おしっこ！」と叫んだ時の出来事だった。とはいえ、まわりには何も無い。ズーい、男の子だし、いっちゃえ！」とお母さん。

緊急事態から解放され、ふと、目の前の情景に目をとめた望垂くん、そこには夜の蒼黒い海に白い波が打ち寄せ、そして、こぼれた言葉だった。

「それまで、自分と同じように、海は夜になると寝るんだってうつすらと思っていたんでしょね」と、高見さん、「ああ、子どもを育てて気づくことってあるんだな」と実感したという。そんな高見さんにとって、沖縄は子育てするのには、ベストに近い環境。



Okinawa Life ending Stage
Kuturogi-time Interview

人と人とのかかわりの中で、徐々に土地になじんでいく。

人と人との出会いの中で、少しずつ、やれること、やるべきことが見えてくる。

主婦、子育て、読み聞かせ活動と、月日を重ねるごとに場が広がり、そして、土地に溶け込んでいく。



半歩だけ踏み出してみた いつのまにかとけ込み始めてた

くつろぎたいむインタビュー
歌手・タレント 高見 知佳さん

「もちろん、沖縄ってひとくくりにはできないので、今、住んでいる読谷は、つていべきなんでしょうね」と高見さん。それは、「子供が自由に遊べる場所があつて、子育ても含めて、いろいろおしゃべりできるご近所があつて、そしてなにより、子ども同士の社会があつて」。

こんな環境は、結婚当初に暮らしていた東京や、ロスアンゼルスでは望むべくもなかったのでは、と話す。

「沖縄のお墓って、とても大きいでしょ。ある日、息子がその上に登って遊んでいたんです」と高見さん、もうびつくりして、「そんなところで遊んじゃだめでしょーっ!」。

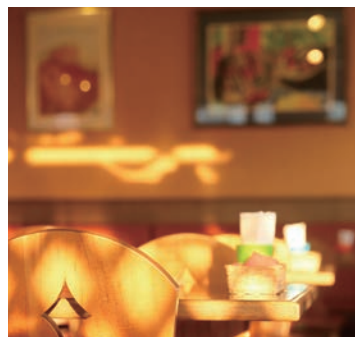
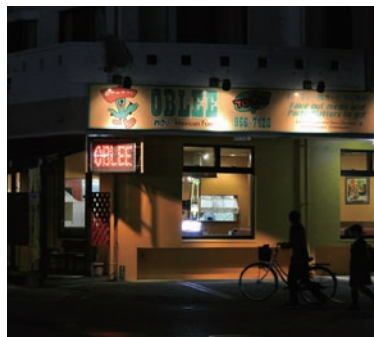
望亜くんが遊んでいたのは、亀甲墓。門中墓とも呼ばれ、家族だけでなく一族が入る共同墓で、小さな家ぐらいの大きさがある。

びつくりして、望亜くんを叱った高見さんに、井戸端会議中のお母さんから、「なんで、みんな遊んでいるのに大丈夫よ」との声。「ああ、そういうものなんだ」と、ほっと安心すると同時に、「ちゃんと、『遊ばせてください』って、お墓にご挨拶するのよー」っと思わず叫んだのだった。

そんな高見さんが沖縄に転居したわけは、とてもシンプル。アメリカでの撮影旅行中に仕事を通して知り合い、



取材場所は、ご主人が経営するメキシコ料理
オブリガードの「オブリー読谷本店」



オブリー読谷本店から歩いて5分ほどの場所で撮影
1月末に満開のひまわり畑は、沖縄でもやはり珍しい

猛烈アタックを受けて結婚にいたった
ご主人のマークさんの実家が、沖縄で
メキシコ料理店を営んでおり、彼が
その経営を継ぐことになったから。

慣れない土地での子育て中心の生
活。ストレスを解放する時間も場所も
ない。そんな時にふと、テレビに映る
かつての共演者たち。「あーっ、わたし、
何やってんだろ」。

思わず庭に出て、ひとり椅子に座っ
ていると、夜風に乗って三線と太鼓の
声。エイサーの練習の声だった。
「その時、ふーっと、肩の力が抜けて、
今、私、風に励まされてるって感じた
んです」。

沖縄での暮らしの中で、ご近所との

関係がとても心の支えになってくれて
いるという高見さんだが、「実は、最
初の頃、ご近所づきあいが苦手だった
んです」と話す。

テレビのインタビュ番組でパーソ
ナリティーを勤めていたときの、活発
で機転の効いた司会ぶりからすると、
新しい土地や人間関係にも、さぞかし
すんなり入り込めたのでは、と不思議
な気になり、さらに詳しく聞くと、「と
んでもない！もう、人付き合いが大の
苦手だったんです」と高見さん。

例えば、こんなことがあった。

「レギュラー番組なんかで、ご一緒
させていたでいた藤村俊二さん。
あだ名が「おひよい」さんっていうん
ですけど、なんでかっていうと、打ち
上げやなんかの最中に、ひよいってい
なくなるからなんです」と高見さん。
そして、「私もそういう場が苦手で、
パーティーとかでおひよいさんと目が
合うと、『抜けちゃおか』って。それで、
それとなくひよいと…」と笑う。

だから、なかなか最初の一步が踏み
出せなかった。

「お母さん同士の『ゆんたく（井戸
端会議）』って、長いでしょ。促まる
と延々と逃げられない」。なので、ゴ
ミだしも、そっと窓から外を覗いて、
誰もいないタイミングを見計らって出
ていたという。

「でも、やっぱり、それじゃあマズい」
と覚悟を決めて、ご近所の輪に、自分
から飛び込んでいく。

「そして、子育ての悩みとか、共
通の話題があるでしょ、あつという間
に仲良くなりました」と高見さん。今
では、母親同士で『古堅ゆんたくクラ
ブ』と称して、バーベキューの持ち寄
りパーティーなど、賑やかにご近所づ
きあいが続いているという。

「それって、多分、そんなに難しい
ことではないと思うんですね」と高見
さん、「まずは、軽い挨拶からでいい
のでは」と話す。

その土地とのかかわりを、どうやっ
てスタートできるかは、ひとそれぞれ
違うだろう。高見さんの場合は、それ
は、ちよつとだけ、半歩だけ踏み出す
ことだった。

「沖縄に住むのでも、あるいは旅行
でも、出会った人たちに軽く笑顔を
見せる、それだけでずいぶん広がるもの
があると思うんです」と高見さん。そ
して、「ちよつとだけ、小さな時間を見
つけてお散歩してください。きつと、
素敵な情景が、広がっているから」
とにっこり笑った。





つくる人と食べる人をつなぐ、暮らしと食のマガジン

おきなわいちば



高安 夏子編集長

「おきなわいちば」の特徴は、『食と暮らし』を通して、沖縄の今の姿を紹介すること。沖縄に暮らす私たちの想いを伝えたいと、毎月工夫を凝らしています。と、いうのも、通り一遍のお店の紹介やレシピの解説では、観光ガイドブックと同じになってしまいうから。素顔の沖縄、素顔の私たちを表現したい。そして、毎回丁寧に取材することで、「つくる人（生産者）」と食べる人（消費者）をつなげること」が私たちの願いです。

そうした努力の甲斐あって、お葉書やお手紙をくださる熱心なファンの方もたくさんいらっしゃいます。なかでも、七〇代の女性の方から、「また沖縄に行く楽しみが増えました」とおっしゃっていただいたのを、とても嬉しく覚えています。

おきなわで・ひとやすみの おきなわいちば編集部いちおし！ コト・モノ・パシヨ

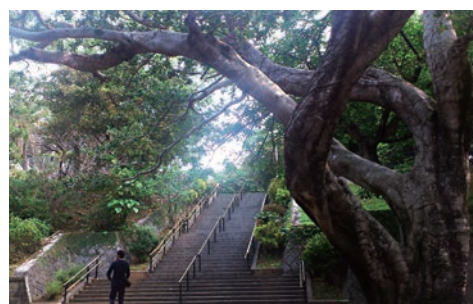


そんじょそこらの沖縄ファンじゃないよ！ うちら重症の「沖縄病」にかかってるんだから！ というみなさんに、地元視点、いやうちな～んちゅでも知らない情報を提供！



てんぶす那覇と 平和通り裏の希望ヶ丘公園 とおきなわいちばセレクトコーナー

まずは、てんぶす館1階のショッピングエリア内にある“おきなわいちば”のコーナーには真っ先に足を運んでもらうとして、買い物が済んだら、てんぶす館裏の希望ヶ丘公園がおすすめ。街のど真ん中にあるとは思えないほどの静けさで、がじゅまるの大木、パノラマビュー、そして猫たち…。公園の小道を歩いて、国際通りや平和通り、桜坂にあっという間に抜けられる。





まちま〜いガイドの沙弥佳さんと「てんぶす」裏、希望ヶ丘公園入り口(?)で、大綱挽モニュメントを見学中。ちなみに、沙弥佳さん、平日は学業に勤しんでいるそう。



那覇まちま〜い！

那覇まちま〜いの魅力は、なんといっても、那覇の街の隅々まで、地元ガイドといっしょに徹底的に歩き回れること。普段着の那覇が体験できるのと、ツアーガイドやメンバー同士、そして地元の人たちとも触れ合えること。それだけじゃない。たとえ観光スポットを歩くのでも、“まちま〜い” ならではのディープなウンチクが楽しめる。

出発コースのすべてをクリアしたファンもいるという「那覇まちま〜い」だが、根強いファンがいるその理由を実際に体験を通して探ってみた。

この日、取材したのは「那覇の市場(マチグワー)迷宮めぐり」コース。このコースは、毎日三回出発しているという人気の定番コースだ。とはいっても、通り一遍の観光案内とは、やはり全然違う。そのあたりのところは、おいおい紹介することにして、まずは、ガイドの沙弥佳さんと合流。

待ち合わせ場所は、てんぶす那覇前広場。この日の参加者は、観光のお二人と、地元、八重瀬町からいらしたというお一方。沙弥佳さんによると、観光客と「うちなーんちゅ」の割合は、だいたい八対二ぐらいの感じらしい。やがてスタート時間の二時。最初に訪ねたのは、てんぶす館裏の大綱挽モニュメント。

沙弥佳さんの「普段着」の解説を我々だけでなく、たまたま居合わせた観光客らしき男性や、散歩中の女性も楽しんでいるのがなんだかほのおかしかった。

さて、この後、平和通りからむつみ橋通りに抜けて、公設市場、浮島通りと、なんだか迷宮巡りのように、約七五分の短い旅を楽しむことになるのだが、沙弥佳さんは、市場の皆さんに丁寧に声を掛けながら歩いていく。「だんだん知り合

いも増えてきました」とはにかみの表情を浮かべる。

特徴的なのは、各ポイントで昔の写真を示しながら、街の歴史を解説していくことだ。写真と目の前の情景を重ねることで、この街の姿、人々の営みが重層的に浮かびあがってくるのが興味深い。

そういえば、むつみ橋通りのアーケードのこと。天井付近に飾られた様々なモニュメントを紹介していると、ふいに、「あー、ちゃんと説明しないとだめでしょー」と声が飛んだ。小さな喫茶店の前、通りに椅子を出してコーヒータイムを楽しんでいたのは中年女性。隣のブティックのオーナーだという。

女性を取り囲んで通りのウンチクタイム。ただのお節介りじゃなく、自分たちの通りのことをちゃんと知ってほしいという気持ちがビシビシと伝わってくる。

それから一〇分余り後、我々はさらにラビリンスの奥へと進んだのだった。



那覇まちま〜い！



公設市場から浮島通りへ

牧志公設市場



桜坂入り口



パラソル通り



てんぷす館 体験工房



那覇まちま〜いのメニューは、15年1月現在で、全59コース。定番の首里エリアだけでも、早朝の首里城開門（門だけでもかなりあるので、全75分のコース）から、首里城に暮らす神女たちの物語を辿るコース、城下町の湧水を辿るコースなど、実にバラエティ豊富。もちろん、首里城以外でも、国際通りの裏道を辿るコースや、ちょっと足を伸ばして栄町を巡るコース、小禄エリアや新都心巡りなど、那覇の街の隅々まで、楽しめる

<http://www.naha-machima-i.com/>



本部八重岳のさくら

1月も中旬を過ぎると、沖縄本島では、桜の便りが、ちらほらと聞こえ始めます。といっても沖縄で咲くのは、ピンクの花を咲かせる緋寒桜。満開の頃には、鮮やかな新緑を背景に、薄いピンクや濃いピンクが咲き誇る、沖縄独特の光景が、本島全体に広がります。写真は、本部八重岳の桜。「さくら祭り」も始まり、沖縄はもうすぐ、春です。



一年中、暖かいところがいいね。

ご主人のその言葉がきっかけで、沖縄に転居。
この土地こそ、家族の居場所、子どもたちの帰る場所



Okinawa Life ending Stage
syuukatu fan club

遠藤公子さんとご両親の糸井晴見・日出子さん夫妻
沖縄在住 4 年余り

闘病中だったご主人、隆二さんの、「一年中、暖かいところがいいな」という言葉をきっかけに沖縄に転居した遠藤公子さんご一家。一年後、ご両親の糸井晴見さん・日出子さんご夫妻も千葉から沖縄に移り住み、家族三世代で穏やかに日々を送られている。

リアルパークが目に残ったという公子さん、お母さまとお二人でドライブがてら見学に来て、「即決でした」という。その理由を尋ねると、「だって山があるから」。転居以前は、山間の自然豊かな場所に住むこ

とが多かったという遠藤さんと糸井さんご夫妻、沖縄にもこんな山に囲まれた場所があるんだ、と「なんだか懐かしくて」とくちぐちに話す。その後、「どうせなら私たちも、ここがいいね」ということで、糸井さん夫妻で永代供養墓を生前契約。「その方が、安心でしょ」と話す日出子さんだが、その後は、風邪ぐらいだったら、「ほら、お墓の準備はOKよ」と笑い飛ばすぐらい、気持ちいが楽になったという。

沖縄に来て最初の冬こそ、なんて暖かいんだろ、と思った公子さんが、慣れるに従い、「やっぱり、沖縄でも冬は寒い！」と感じるようになったというから、だんだん「うちなーんちゅ化」が進んできている証拠かもしれない。

翌年、隆二さんが永い眠りにつく。

「お墓、建てなきゃね」とインターネットで調べるところに、ここ大里メ



中：糸井さんご夫妻の永代供養墓
左：本が好きだった遠藤さんの墓

ところで、生前、ご主人は、沖縄に墓を建てることに抵抗はなかったのですかと聞くと、「全然大丈夫。兄弟みんなリゾート気分です墓参りしてくれるから、いいんじゃないか」と、笑っていらしたという。そして公子さん、「ドライブがてら、気軽にお父さんに会いに来られるし、それに、私もここで一生過ごすんだって、なんだか安心感がありますよね」との言葉が印象的だった。

死を考えるといいことは一生懸命、生きること。

子どもたちに負担を掛けたくないから、
永代供養墓を生前予約しました。



与那原町在住の
Uさんご夫妻
定年を機に沖縄に居
を移して約10年

二人そろって沖縄ファンだというUさんご夫妻は、沖縄在住十年以上というベテラン(?)で、転居以前に十回は沖縄を訪れていたという。

「もう、沖縄っていうだけで、すべて受け入れる感じ」だったという奥さま、沖縄ファンになった理由はと聞くと、

「テレビのニュースで沖縄を取り上げていたのを見て、その時の解説者の方の話していた、『沖縄はゆるしの島』という言葉が、心に残ったんです」と話す。

そんな沖縄好きが昂じて、お二人は、沖縄に住むことに。「現役の時、転勤、転勤でいろんなところに住んだんです」と話すご主人、定年後は、暖かいところに住みたいと考えていた。「とはいえ、そんなに簡単にいくとは考えていなくて、最低、三つの条件をクリアする必要があるな、と」。

三つの条件とは、『先祖代々の墓と離れられるか』ということ、『友だち



と疎遠でいられるか』ということ、そしてなにより『妻の賛同が得られるか』。ひとつめの先祖の墓については、お兄さんが継ぐということで解決、二つ目の友達については、「沖縄で新

しい友達をつくらう!」。そして、最後の奥さまの理解については、「だって、私より沖縄好きだから」、と笑う。

そうやってスタートした沖縄暮らしだが、「まあ、旅行で来るのと実際に住むのとは違いますけど、それはどこでも同じ」と奥さま。でも一つだけ強く訴えたいことがあるという。それは、「路面電車がぜひ、必要です」ということ。「だって、車がないと、不便でしょ。渋滞もすごいし」と力を込める。

そんなUさんご夫妻が永代供養墓を生前に予約したのは、「葬儀もお墓も、シンプルイズ・ベストという考え方が広まっていること、そして自分で納骨を手配できるなど、後々の心配がない」ということ。ただ、それだけではない。「実は、死というものについて、勉強しています」というご主人、それは、「そうすると、ああ、一生懸命生きなきゃ」という気持ちになるから。そして、「毎日、読書やウォーキング、運動など、充実した毎日を送っています」と笑顔をみせてくれた。



小浜一恵【終活カウンセラー】

ピアニストとしての活動とともに終活カウンセラーとしてセミナー等に八面六臂で活躍中

終活カウンセラーいちえの

よりよくいきる

終活っていうと、なんだか、クラーい、カターいイメージ。でも本当は、違うんです。終活って、走るのをちょっとやめて、自分のフォームだとか、体力だとか、あるいは走る目的なんかを見つめなおす、人生をよりよく生きるための活動なんです。

みなさん、初めまして、かな？

こんにちは、終活カウンセラーの一恵です。

「沖縄でひとやすみ」創刊にあたって、このコラムを担当します。よろしく願いますね。さて、まずは、簡単に自己紹介。ピアニスト兼終活カウンセラーです。ひとことというところ。

ピアニストとしては、CMを作曲したり、コンサートに出たり、ピアノ教室を開いたりして活動が続いています。

そして、終活カウンセラーとしては、歌や演奏付きの楽しい終活セミナーを開いたり、終活に関心がある方のために、エンディングノートの綴り方のご指導なんかもさせていただいています。

と、いうことで、皆さん、終活です。

終活って、人生の終わりを迎える準備活動って捉え方が一般的で、なにかちょっとカターイ、むずかしいイメージを抱かれている方が多いと思うんですね。でもほんとうは、そんなことないんです。

ね、ぜひこう考えてください。終活って、人生をよりよく生きるための「中間のまとめ」なんだって。

実は、先日、ある方に、「御葬儀の事前相談しておくのってとってもいいですよ。ぜひ、やった方がいいです！」って、アドバイスさせていただいたんです。そしたら、最初はやっぱり、「とんでもない」って、ちょっとムツとしてたりしたんだけど、私の熱意(?)に負けて実際に相談されたんですね。

そしたら、「いやー、いちえさん、なんかとっても気が楽になった。なんか、これからもっと頑張る



ぞーって気になった」っておっしゃったんです。

ね。実は終活の一番の効果がこれ。気が軽くなつて、人生を生きる勇気が湧いてくるということなんです。それには大きく二つの理由があります。まずは、実際のなことで、自分がいなくなったときのことを予め段取り付けておくことで、残されたご家族の負担を軽くすることができるということ。それが逆に自分自身の負担を軽くすることに繋がる。

そしてもう一つが、自分の半生を振り返ることの効果。これが、とっても大事。いままで無我夢中で生きてきたことを、いったん整理することで、じゃあ、これからどう生きよう、ってなるんです。

ということ、あつという間に、紙幅が無くなってきました。次回は、なぜ、私が終活カウンセラーになったかというエピソードをご紹介しますね。



合祀納骨堂の様

新垣住職による法話
本日のお話しは、閏月（ゆんじち）について

法要のご報告



しめやかに 合同供養法要

一月二三日（金）、時折晴れ間が広がる穏やかな天候のもと、中城メモリアルパーク内のおきなわ霊廟にて、「合同供養法要」がしめやかに行われました。

法要は、午前一〇時より合祀納骨式、午前一一時より合同供養祭の二部に分かれて執り行われ、この日は四八組、一一人のご遺族・ご関係者様が参列、お手を合わせてくださいました。

午前一〇時からの合同納骨式では、パーク職員によりご家族からお預かりしたご遺骨ひと柱ひと柱を心を込めて奉安したのち、浄土真宗正安寺の新垣鳳蓮住職より、お祀りいただきました。

その後、一一時からの合同慰霊祭では、参列者が祈りをささげる中、霊廟の阿弥陀さまの前に坐した新垣住職により読経が行われ、その後、参列の皆様、お一人おひとりにより、ご焼香がささげられました。





法要の準備
静かな中にも緊張する時間です

まごころをつくして、
お世話させていただいています。



公園で遊ぶ感覚で、ぜひご家族でお気軽にいらしてください。

今回は、整備協会スタッフの直島豊さんと神谷嘉弘さんにお仕事ぶりについて伺いました。

お二人によるとスタッフの仕事は、ご遺族の思いが寄せられる大切なご遺骨をお預かりし納骨、皆様の法要が滞りなく行われるようサポートすることや、その後も皆様が気持ちよく安心してお参りいただけるよう、墓苑管理区域がいつも整備された状態であるように維持することまで、本当に多岐にわたるとのこと。

特に、永代供養の際の墓じまい（改葬）では、ご先祖代々のお骨をご家族のお墓から出骨し、パークまでご移送、納骨するのは当然ですが、その後も、もとのお墓の整理をするなど、場合によっては数日かかることもあるといいます。

そんな大変な仕事ですが、なににより嬉しいのは「自分たちだけではできなかったさあ、ありがとうね」と、ご遺族の方から感謝の声を掛けられる時。特にご遺族が高齢の場合は、本当にほっとした表情をされるのが心に沁みるそうです。

宮古島に、待望の 管理型公園墓地誕生！



イメージキャラクター
具志堅 用高さん

2014年
12月
オープン



美ら海のぞむ やすらぎの丘

宮古島メモリアルパーク

ただいま
予約受付中！



沖縄県宮古島市平良字松原 1290-2
TEL:0980-74-3110

- 平良港交差点から車で8分、宮古空港西側に隣接
- 各所に大型駐車場、トイレ、水汲み場を設置
- 与那覇湾を一望できるロケーション、全区画バリアフリー
- 管理事務所に管理スタッフが常駐

沖縄のエンディングを支える全島ネットワーク



うるま市 家族みんなが快適な管理型公園墓地
具志川メモリアルパーク
沖縄県うるま市具志川 1801-1 番地



県内最大の管理型公園墓地
中城メモリアルパーク
沖縄県中頭郡中城村字当間 340 番地



南城市 花とみどりの公園墓地
大里メモリアルパーク
沖縄県南城市大里字大城 1260 番地



名護 さくらの里で永遠のやすらぎ
やんばるメモリアルパーク
沖縄県名護市屋部 728



美ら海のぞむ やすらぎの丘
宮古島メモリアルパーク
沖縄県宮古島市平良字松原 1290-2



理想の管理型公園墓地
泡瀬メモリアルパーク
沖縄県沖縄市桃原 595



まずは資料請求を！

メモリアル終活支援センターにご相談ください。

受付時間
9:00~17:00
無料相談

0120-202-869

メモリアル終活支援センターは、専門のスタッフがお客様の立場でお役に立てよう誠心誠意お応えします。

公益財団法人 沖縄県メモリアル整備協会／メモリアル終活支援センター

〒901-1111 沖縄県島尻郡南風原町字兼城123番地POPビル3F